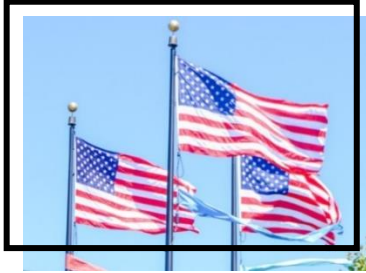


留学だより 5月号

こんにちは！AFSで**アメリカ**に留学中の14期生の林千代です。



とうとう五月の留学だよりです！先月ワードが使えず4月号が書けなかったのでおそらくこれがアメリカで書く最後の留学だよりになると思います。

▷May 4th



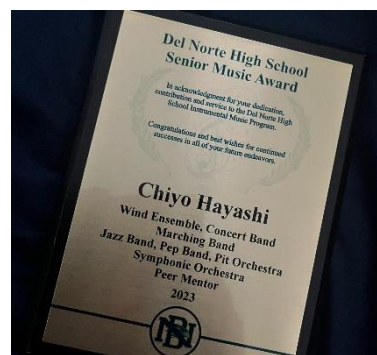
この日はスターウォーズの日でした！なぜなら「フォースとともにあらんことを」が英語では「May the 4th be with you」だからです。その日はコスプレをしている人がいたり数学の先生が休んだりしていてとてもアメリカらしいなと思いました。

▷最後のジャズフェスティバルとラストコンサート 5月6日、18日

五月の最初にジャズの最後のフェスティバル、中盤に最後のコンサートが学校で行われました。もう本当に今年は何度人前で演奏したか数えられませんが本当にいい仲間と最高の先生たちに囲まれてミュージックプログラムに入ってよかったなと感じました。ジャズのフェスティバルではソロを演奏したのですが、本当に大きなホールで演奏するのは今年一年、演奏し続けても慣れず、緊張しました。ただ、コーチから緊張しないために必要なことは普段の練習とその努力を演奏につぎ込むことだと教わったのでそのことを考えていたら少し楽になりました。(名言ですね。)今の目標はどれだけいつも通りの演奏をすることと人に好かれる音を吹くことです。



次に、学校で行われた最後のコンサートについてです。このコンサートは二日間に分けて行われ、一日目はジャズ、二日目はウィンドアンサンブルとシンフォニックオーケストラで参加しました。この学校のミュージックプログラムの素敵なところは新しい楽器を始めることにとてもオープンなことです。そのためか、いくつもの楽器を演奏できる人がたくさんいます。私も一月からトロンボーンを始めました。最後のコンサートの日にはシニアレコグニションといって最高学年の生徒全員が名前を呼ばれ、盾をもらうというものです。私も学校を離れるということでもらうことができ、とてもうれしかったです。留学生はいろいろな場面で最高学年と同じ扱いをしてもらえることがあります。ミュージックプログラムに限らず、何かのグループに加入することは、自分の居場所にもやりたいことを見つけられる場所になるので、一年でいなくなるからと考えず、やりたいことをやるといいんだなととても感じました。



▷ディズニー 5月21日



次にマーチングバンドでいったディズニーについて書きます。今回はただ遊びに行ったわけではなくお昼ごろにパレードを行いました。キャスト側になった気分がとても楽しく、ほんの少しディズニーの裏側も見ることができた気分でした。午前とパレードの後はパークで遊びました。パイレーツオブカリビアンでは私たち 17 人グループのためにボートを貸し切ってもらったり、最高学年と先生たちで卒業生が働いているジャングルクルーズに乗りに行きました。（これも貸し切りです。）そのほかにはカヌーをしたり、スターウォーズのアトラクションに行ったりととても楽しかったです。みんなしっかりリアクションするので、私も遠慮なしに叫んだりしゃいだりととても楽しい時間でした。

▷Night at the museum 5月31日



先程、学校での最後のコンサートをやったと書きましたが、これはもう少しラフな学校全体行事でした。全ての芸術系クラスをとっている生徒が学校でそれぞれの発表をするというものです。今回、私はウィンドアンサンブルの金管セクションとジャズで演奏しました。どちらもソロがあったのでとても緊張しましたが、他の人たちの演奏を聴くのは本当に楽しかったです。

▷Banquet 6月4日



これは一年間のミュージックプログラムを締めくくるパーティーで、みんなでご飯を食べた後、一人一人を表彰したり、個別の賞が発表されたりしました。

おそらく、ほかのスポーツグループにもあります。日本でも同期会などがありますが、こういうしっかりした場所でコースメニューを食べながら着飾って 200 人以上でのパーティーは初めてだったので、本当にこういうところ好きだなと思いました。

▷Final 6月7日～9日

日本でいうところの期末テスト週です！とはいっても実際にテストを受けたのは数学だけで、コートスポーツは簡単なクイズ、歴史はそれぞれで法案の発表、ウィンドアンサンブルはすでに全員スケールテストを終えていたのでポットラックという食べ物を持ちよってみんなでパーティー気分でした。また英語のクラスでは時運に関するプレゼンテーションでした。とても長くなりやすいトピックで、もともとの設定時間が4～6分だったにもかかわらず体感時間7分で永遠に話続け、先生に11分45秒と言われたときはもはや恥ずかしかったです（笑）。ただ、自分の今年一年をまとめている感じで楽しくもありました。金曜日の最後のベルリングの瞬間は、信じられないのと同時に終わった感がしました。こちらの学校では学期と学期の間が土日しかいつもなかったもので、三学期の終わりは本当に一年をやりきった特別な感覚でした。

▷卒業式 6月9日



さて、とうとう卒業式です！これは金曜日の放課後に開かれました。最高学年は全員 Final の一週間はお休みなので、Banquet ぶりに最高学年の人たちに会えて本当にうれしかったです。バンドは卒業式の入場曲と国歌を演奏したので自動的に卒業式に参加でき、



バンドの卒業生の名前が呼ばれたときはみんなで叫んでとても楽しかったです。こちらの卒業式は外でやるので雨が降ったらどうするんだろうという気持ちもありました（笑）。卒業生総勢609人、全員の名前が呼ばれ終わるまではさすがに長かったです（笑）。卒業式後はフィールドで卒業生やバンドのみんなと写真を撮り、本当に幸せな時間を過ごしました。そのあとバンドルームに戻り、一年を共にしたトランペット、半年を共にしたトロンボーンとのお別れはとても寂しかったです。特にトランペットに関してはカレンダーによると10月19日からずっと吹き続けていたようなので、本当にお世話になったなという感じでした。お掃除がとても大変でした（笑）。



▷今月のコーギー

今月も我が家の癒し担当 Nasi の様子を挙げて行こうと思います！

Picture



▷最後に

おそらく6月の留学だよりは日本で書くことになると思います。今回はバンド尽くしになってしまいました。アメリカの学校で学び、友達をつくり、居場所づくりなどして、それでも実際は後悔やもう少し自分を成長させたかった感がありますが、いい学校生活だったなと思いました。あとは二週間、夏休みを満喫するだけなので、(パッキングもしなきゃです。)友達や家族とたくさん過ごそうと思っています。ここまで読んでくださりありがとうございました。

14期生 林